

「実需給 2 年度前の容量停止計画の調整業務」
の結果について
＜対象実需給年度：2026年度＞

2025年1月21日

容量市場の在り方等に関する検討会事務局※

1.はじめに

2.容量停止計画の調整の結果について

- (1) 調整終了後の結果概要
- (2) 調整期間中の各電源による調整結果（推移）
- (3) 調整期間中のトピックス
- (4) 調整結果を受けた減額

3.まとめ

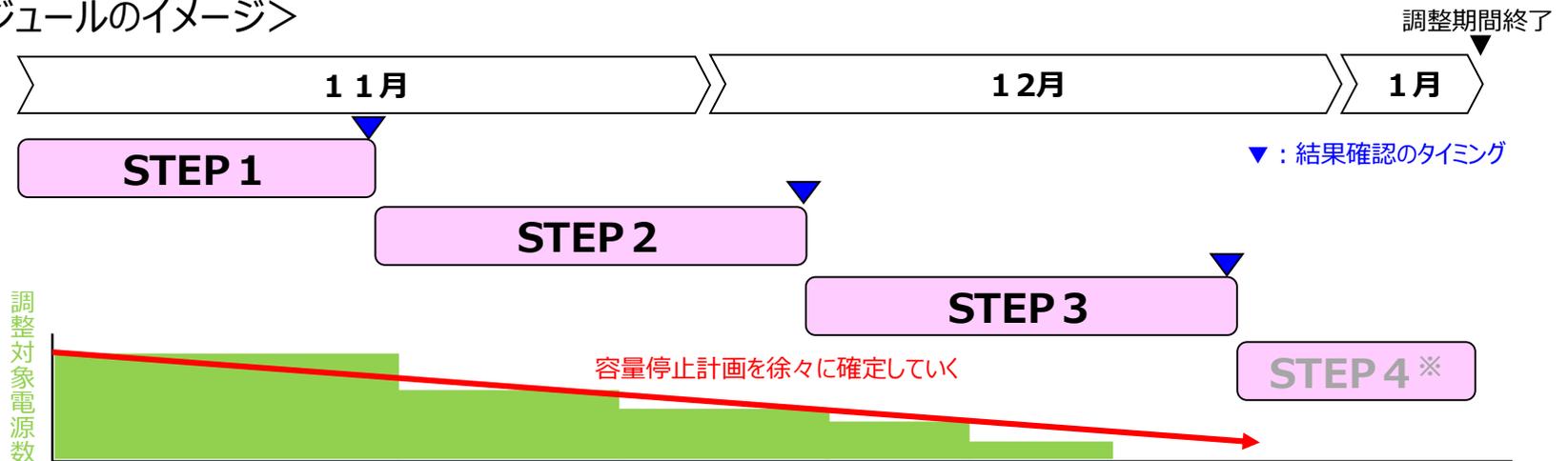
- (参考1) 容量停止計画の調整業務期間中の公表情報
- (参考2) 容量停止計画の調整業務の概要（昨年度からの変更点）

- **「容量停止計画の調整業務」**は、定期補修等で電源が出力停止または抑制する時期について、実需給期間に必要な供給力を確保するため、**実需給年度の2年度前に調整**することとなっている。
(本件は、2022年度に1回目、2023年度に2回目を実施し、今回は3回目の取り組みとなる)
- 今回の調整業務の対象は、2022年度メインオークション（対象実需給年度2026年度）により容量確保契約を締結した安定電源と変動電源（単独）となる。
- 2022年度メインオークション（対象実需給年度2026年度）で約定した電源を対象として、2024年11月～2025年1月に、実需給2年度前の「容量停止計画の調整業務」が実施された。
- 本日は、今回実施された**容量停止計画の調整業務の結果**について報告する。

調整スケジュールについて

- 全ての容量提供事業者が同時に調整を行うことを円滑に進めるために、調整期間内にSTEPを設け、STEP毎に変更可能な条件を設定することで、段階的に容量停止計画の調整・確定が行われ、早い段階で調整するインセンティブを設けながら収束させていく方法で調整業務を実施した。

<調整スケジュールのイメージ>



	条件
STEP1	全電源が自由に計画変更可能
STEP2	供給信頼度に影響を与える月への計画変更は不可
STEP3	調整不調月の電源以外は、計画変更不可 (ただし、STEP2と同様の制約あり)
STEP4※	供給信頼度に影響がある場合のみ個別調整

※供給信頼度に影響を与える状況が解消される見込みがない場合に限り実施

2. 容量停止計画の調整結果概要について

(1) 調整終了後の結果概要

- STEP1～4の各期間において、各月の供給信頼度の変化状況に応じて**ブロック構成を都度変更して信頼度確保状況を公表**し、各電源の**定期補修時期等の調整**が行われた。
- STEP3終了時点で、供給信頼度に影響を与える基準を一部超過していたため、該当するエリア・月を対象に**STEP4として個別調整を実施**した。
- 供給信頼度が確保できていないエリア・月に予定されている停止計画について、変更可否を確認の上、できる限り計画変更を検討頂く等の調整を行った。調整困難なものを除き変更に応じて頂いた結果、最終的に**概ね供給信頼度が確保**された状態となった。

<供給信頼度確保状況の公表イメージ>

月	EUE基準値(kWh/kW・月)		EUE (kWh/kW・月)	作業可能量(MW)		作業 停止量 (MW)
	①追加設備利用	②信頼度影響		①追加設備利用	②信頼度影響	
4月	0.000891	0.001933	0.000073	50,848	52,493	39,328
5月	0.001294	0.002408	0.000050	58,348	59,958	43,733
6月	0.001377	0.003478	0.000050	45,577	7,377	43,733
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
3月	0.000617	0.001515	0.000752	31,339	33,246	17,228

基準となる供給信頼度 (EUE基準値②)
 供給信頼度で確認 (EUE)
 作業可能な量 (作業可能量②)
 停止量が収まっているか確認 (作業停止量)

2. 容量停止計画の調整結果概要について

(1) 調整終了後の結果概要

- STEP4終了時におけるブロック構成は、**ブロックA（北海道・東北・東京・中部・北陸・関西・中国・四国）**、**ブロックB（九州エリア）**となった。
- 最終的に、**九州の12月を除く全てのブロック・月において、供給信頼度に影響を与える基準を満たした状態**となった。

※月平均で充足していても月内で停止が偏っている場合、日単位ではひっ迫が発生する可能性があるため、実需給に向けては日単位の調整が別途必要。

<供給信頼度算定結果>

ブロックA
(北海道・東北・東京・中部・北陸・関西・中国・四国)

	EUE基準値 [kWh/kW・月]		EUE [kWh/kW・月]	作業可能量 [MW] (参考値)		作業停止量 [MW]
	①追加設備利用	②信頼度影響		①追加設備利用	②信頼度影響	
4月	0.00395	0.00754	0.00535	42,033	43,596	31,295
5月	0.00067	0.00130	0.00010	49,267	50,784	34,152
6月	0.00143	0.00353	0.00006	37,709	39,403	27,291
7月	0.00026	0.00071	0.00022	10,820	12,941	7,810
8月	0.00142	0.00299	0.00104	10,057	12,186	6,982
9月	0.00099	0.00205	0.00008	24,382	26,256	11,932
10月	0.00058	0.00109	0.00010	41,369	42,962	35,385
11月	0.00094	0.00181	0.00079	30,776	32,442	26,356
12月	0.00008	0.00014	0.00000	19,470	21,298	13,084
1月	0.00034	0.00069	0.00007	11,077	12,741	7,841
2月	0.00006	0.00013	0.00004	11,071	12,835	8,011
3月	0.00106	0.00216	0.00013	24,972	26,765	17,742

ブロックB
(九州)

	EUE基準値 [kWh/kW・月]		EUE [kWh/kW・月]	作業可能量 [MW] (参考値)		作業停止量 [MW]
	①追加設備利用	②信頼度影響		①追加設備利用	②信頼度影響	
4月	0.00557	0.01002	0.00000	5,211	5,377	3,639
5月	0.01212	0.02025	0.00000	5,518	5,687	3,924
6月	0.00447	0.00856	0.00000	4,326	4,518	998
7月	0.00011	0.00032	0.00002	963	1,208	1,365
8月	0.00028	0.00056	0.00002	935	1,181	1,346
9月	0.00063	0.00136	0.00000	3,074	3,286	1,988
10月	0.00792	0.01299	0.00007	4,798	4,978	4,359
11月	0.00218	0.00398	0.00001	3,808	3,993	3,623
12月	0.00012	0.00026	0.00036	1,106	1,338	2,520
1月	0.00037	0.00075	0.00004	944	1,179	1,626
2月	0.00013	0.00029	0.00000	715	950	823
3月	0.00304	0.00568	0.00000	3,134	3,333	1,097

緑塗箇所：追加設備量を利用する基準を超過している箇所（EUE基準）
赤塗箇所：供給信頼度に影響を与える基準を超過している箇所（EUE基準）
EUE：月間の供給信頼度(EUE)の値

2. 容量停止計画の調整結果概要について

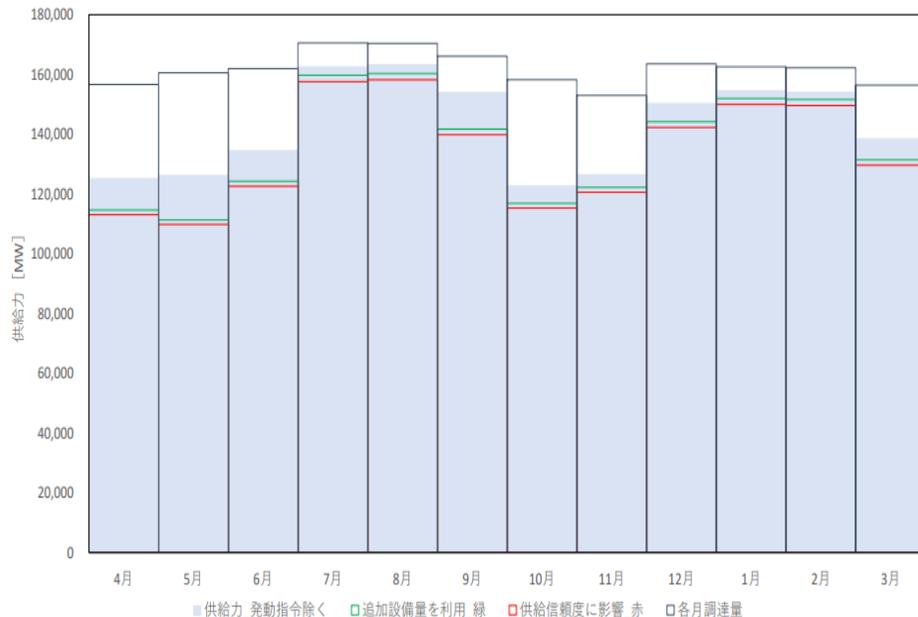
(参考) 調整終了後の結果概要 (実作業停止量と基準の関係)

- 供給信頼度 (EUE) による評価の他、見え易さの観点から、**参考情報の扱いとして作業停止量と基準となる供給力との関係についても公表している。**
- 今回の調整終了後の作業停止量を考慮した供給力についても**九州エリアの一部の月を除いて、供給信頼度に影響を与える基準を満たした状態**となった。

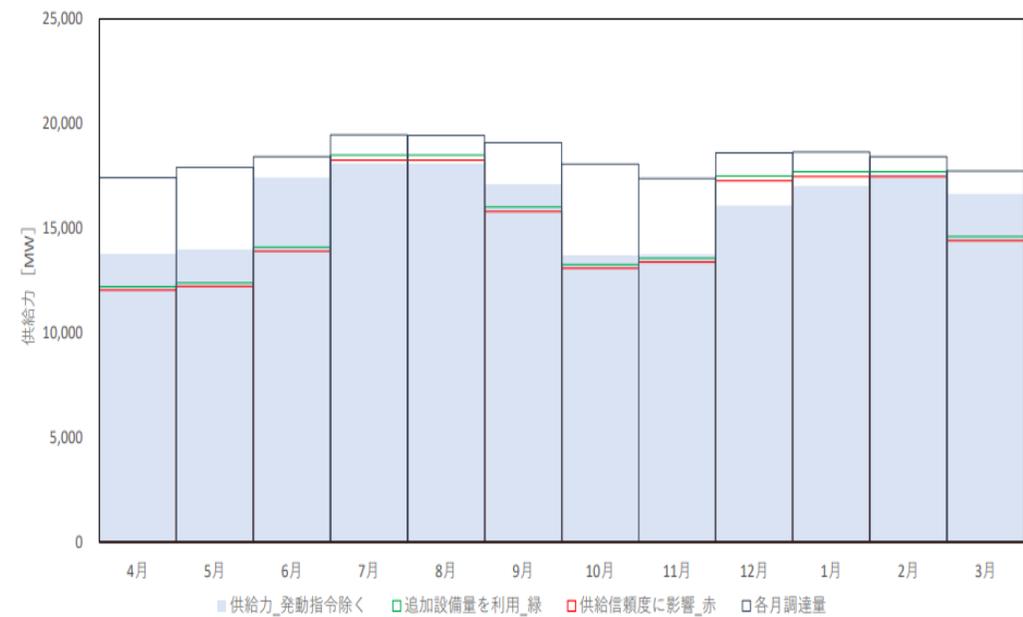
<月別作業可能量と作業停止量の関係>

* 白の枠が作業量を表している
* ただし、各エリアの作業量で見ているため、広域的な供給信頼度の様子までは反映されていない

ブロックA
(北海道・東北・東京・中部・北陸・関西・中国・四国)



ブロックB
(九州)

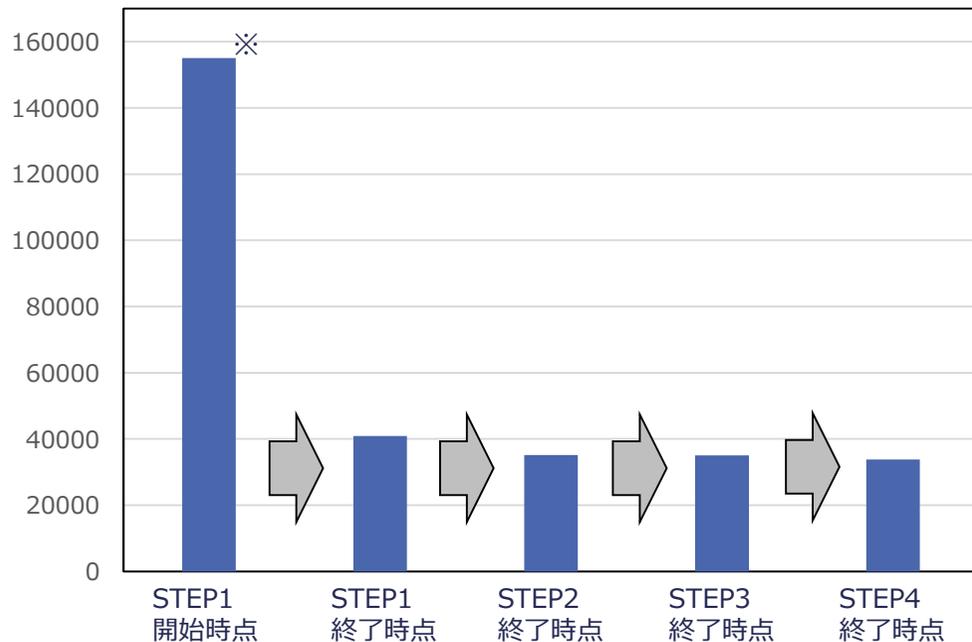


2. 容量停止計画の調整結果概要について

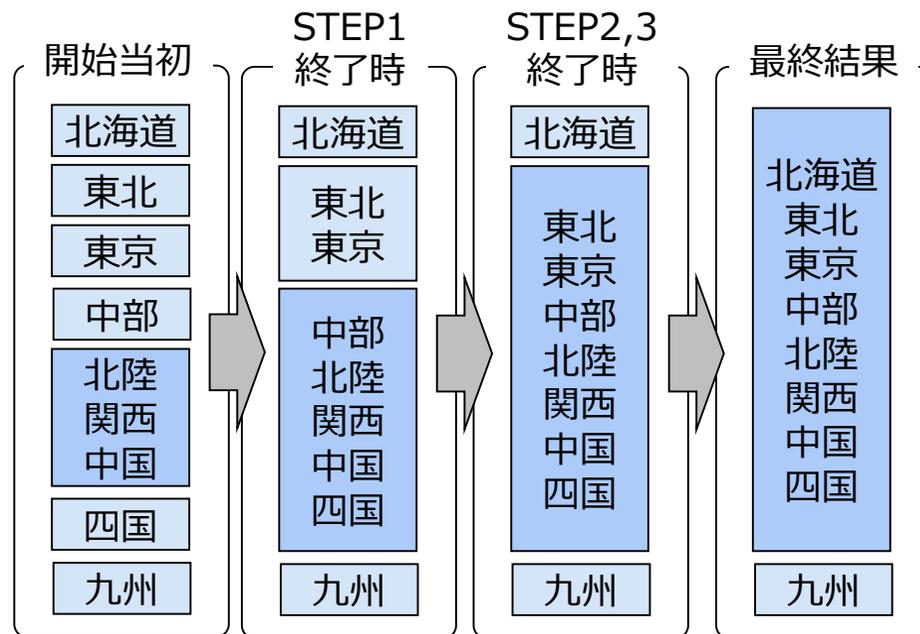
(2) 調整期間中の各電源による調整結果（推移）

- 調整不調対象月の作業停止量の推移としては、**開始当初からSTEP1で大きく減少し、STEP2,3,4で徐々に減少した。**
- **ブロック構成の推移**としては、**開始当初7つのブロック**に分かれていたが、ステップを追う毎に供給信頼度に影響を与える月が少なくなって**ブロックが統合**され、**最終的に2つのブロック**となった。
- 今回よりブロック構成を随時更新したことにより、**効率的に調整を実施**できたと考えられる。

<調整不調月の作業停止量の推移>



<ブロック構成の推移>



*諸元誤りによる影響を排除

2. 容量停止計画の調整結果概要について

(3) 調整期間中のトピックス

<諸元・データ誤り、スケジュール変更>

- **STEP1期間中**、事業者から**提出されたデータに誤り**（重複登録や停止量の算定誤り）があり、容量提供事業者へは、提出したデータが意図した内容のデータとなっているか、再度確認を行うように連絡・**修正を依頼**した。
- また、同期間中、広域機関で**算定に用いる諸元に一部誤り**があったことが判明し、**諸元の再確認と修正**を行った。
- 上記に伴い**スケジュールを一部見直し**し、STEP1を1週間程度延長しつつ、データを十分に確認した上で調整を進め、**全体スケジュールを1週間程度後ろ倒し**する形とした。

<STEP4における個別調整>

- STEP4の**調整対象（北海道エリアの11月および九州エリアの12月）の停止計画は51件**で、これらの計画の提出事業者に対して、計画変更可否確認および調整を行った。
- その結果、**7件について作業時期の変更・短縮・取りやめ等の調整**が行われた。
- STEP3期間中から、今後**どのような計画変更をすれば信頼度が確保されるかシミュレーション**を行い、STEP4において、そのシミュレーション結果や調整不調となった際の**減額の見通し等を事業者**に示しつつ、**短期間で円滑に調整**を実施した。

2. 容量停止計画の調整結果概要について

(4) 調整終了後の減額

- 調整期間終了後に、供給信頼度の基準を満たしていない場合に、該当するエリアおよび月に提出された停止計画は調整不調電源となり、減額の対象となる。
- 減額率は約定時点ブロック構成における作業可能量（ブロック1：北海道エリア、ブロック2：北海道エリア以外）で算定することとなっている。
- 九州エリアの12月は供給信頼度に影響を与える基準を満たしておらず、調整不調電源となるが、減額率は約定時点のブロック構成が用いられるため減額率は0%となった。

<約定時のブロック構成における減額率>

約定ブロック1 (北海道)

	作業可能量 [MW] (参考値)		作業停止量 [MW]	減額率 [%] (緑)	減額率 [%] (赤)
	①追加設備利用	②信頼度影響			
4月	1,243	1,306	766	0.0000	0.0000
5月	1,871	1,928	1,025	0.0000	0.0000
6月	1,844	1,901	1,515	0.0000	0.0000
7月	1,128	1,194	1,091	0.0000	0.0000
8月	944	1,011	953	0.0003	0.0003
9月	1,297	1,360	1,104	0.0000	0.0000
10月	1,245	1,308	1,057	0.0000	0.0000
11月	674	746	646	0.0000	0.0000
12月	327	404	114	0.0000	0.0000
1月	0	73	5	0.0209	0.0209
2月	141	220	157	0.0064	0.0064
3月	513	585	331	0.0000	0.0000

約定ブロック2 (東北・東京・中部・北陸・関西・中国・四国・九州)

	作業可能量 [MW] (参考値)		作業停止量 [MW]	減額率 [%] (緑)	減額率 [%] (赤)
	①追加設備利用	②信頼度影響			
4月	46,001	47,666	34,169	0.0000	0.0000
5月	52,914	54,542	37,051	0.0000	0.0000
6月	40,191	42,020	26,774	0.0000	0.0000
7月	10,654	12,956	8,085	0.0000	0.0000
8月	10,047	12,355	7,375	0.0000	0.0000
9月	26,159	28,182	12,816	0.0000	0.0000
10月	44,922	46,633	38,686	0.0000	0.0000
11月	33,910	35,689	29,311	0.0000	0.0000
12月	20,249	22,232	15,490	0.0000	0.0000
1月	12,021	13,847	9,462	0.0000	0.0000
2月	11,646	13,566	8,677	0.0000	0.0000
3月	27,593	29,513	18,508	0.0000	0.0000

- 2022年度メインオークション（対象実需給年度2026年度）で約定した電源を対象として、11月～25年1月に**実需給2年度前の「容量停止計画の調整業務」を実施**した。
- STEP1期間中、**容量停止計画のデータ登録内容の不備および広域機関による算定誤り**があり、公表スケジュールに遅れが生じた。それに伴い、**スケジュールの見直しを実施**した。
- 調整期間において、事業者のみなさまには、多岐に亘る関係者との調整を経て計画変更の対応を頂いた結果、STEP4終了時点において、**九州の12月を除く全てのブロック・月において、供給信頼度に影響を与える基準満たした状態**となった。
- 基準を超過しているエリア・月に関しては、今後、実需給1年度前（2025年度）に行う**追加オークションや供給計画のとりまとめや需給検証**等にて、必要に応じて**追加調達や作業停止計画の調整等**が行われることとなる。
- 今後も、調整業務に関する事業者からの質問やご意見等を踏まえ、次年度以降の**業務マニュアルや各種公表資料の反映**を継続的に行っていく。

- ① 「供給信頼度の確保状況」＜営業日毎に公表＞

<https://www.occto.or.jp/archives/1076>

- ② 「容量停止計画調整の留意事項」＜2024/7/16公表＞

https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/chousei/2026/files/20240716_teishikeikaku_point_2026.pdf

- ③ 容量停止計画提出用CSVファイル作成支援ツール

https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/chousei/2026/files/2026youryoucsv_shientool.zip

(1) 調整期間中におけるブロック構成の更新(1/2)

■ 2024年度の調整業務では、最新の供給信頼度状況を踏まえて**ブロック構成を随時更新**することで、どのエリアのどの時期の停止計画を調整すれば良いかを見えやすく、**より効果的に調整業務を行うと**
いった改善を図る。

■ なお、STEP1では約定結果時点のブロック構成※にもとづいて開始し、調整期間中の各STEPの調整状況により、ブロック構成を更新し、**更新後のブロック単位で信頼度確保状況の確認**を行う。

※調整期間終了時点において、約定結果時点のブロックでも調整不調電源となった場合に、最終的に調整不調電源となる。
なお、調整期間中に調整不調電源対象外と登録されたステータスは維持される。

3. オークション結果の集計・公表
(1) 供給信頼度 [1/2]

容量市場メインオークション約定結果
(対象実需給年度：2026年度)

- 約定処理の結果、全国の供給信頼度は、0.022 kWh/kW・年、オークションで確保した容量における供給信頼度とブロック構成は下記のとおりとなった。
- 以降では、エリアプライスの異なる北海道、東北、東京、九州とそれ以外のエリアで区分した集計も行う。

		供給信頼度 [kWh/kW・年]	
目標調達量において維持される全国の供給信頼度基準値		0.048	
全国の供給信頼度 (需要曲線と供給曲線の交点)		0.022	
エリア	供給信頼度※1 [kWh/kW・年]	想定需要	調達量※2
北海道	0.037	497.2 万kW	622 万kW
東北	0.004	1,345.6 万kW	2,013 万kW
東京	0.009	5,353.1 万kW	5,748 万kW
中部	0.001	2,457.0 万kW	2,740 万kW
北陸	0.000	512.0 万kW	665 万kW
関西	0.000	2,709.0 万kW	2,824 万kW
中国	0.000	1,039.3 万kW	1,261 万kW
四国	0.000	483.0 万kW	915 万kW
九州	0.017	1,507.3 万kW	1,910 万kW
合計		15,903.5 万kW	18,698 万kW

※1 供給信頼度は四捨五入により表記上、零になる場合があるが、実際には停電量[kWh/年]が発生している。

※2 FIT電源等の期待容量等を含む。(全国計で2,427万kW)

(参考) 容量停止計画の調整業務の概要 (昨年度からの変更点)

第55回容量市場
の在り方等に関する
検討会資料より
(2024/5/30)

(1) 調整期間中におけるブロック構成の更新(2/2)

- オークション結果をもとに設定した各エリア・各月の供給信頼度に影響を与える基準 (赤基準) と、容量停止計画を反映した供給信頼度の算定結果を比較し、当該月の不足・充足を確認する。
- 停止計画の変更要否がより明確になるよう、月別の状況が完全に一致している隣接エリアでブロックを構成し、供給信頼度確保状況を公表する。
- 具体的な運用については、事業者説明会においても説明を行い、周知を行っていくことを予定している。

北海道

	EUE基準値(kWh/kW・月)		EUE
	①追加設備利用	②信頼度影響	
4月	0.0043	0.0072	0.0000
5月	0.0081	0.0123	0.0000
6月	0.0126	0.0187	0.0000
7月	0.0009	0.0015	0.0002
8月	0.0018	0.0028	0.0017
9月	0.0087	0.0125	0.0128
10月	0.0032	0.0050	0.0051
11月	0.0022	0.0039	0.0135
12月	0.0003	0.0006	0.0000
1月	0.0005	0.0007	0.0008
2月	0.0007	0.0013	0.0001
3月	0.0041	0.0066	0.0030

東北

	EUE基準値(kWh/kW・月)		EUE
	①追加設備利用	②信頼度影響	
4月	0.0007	0.0019	0.0001
5月	0.0002	0.0008	0.0000
6月	0.0006	0.0022	0.0000
7月	0.0000	0.0002	0.0000
8月	0.0008	0.0021	0.0000
9月	0.0005	0.0016	0.0000
10月	0.0001	0.0002	0.0007
11月	0.0006	0.0016	0.0005
12月	0.0000	0.0000	0.0000
1月	0.0000	0.0002	0.0000
2月	0.0000	0.0001	0.0000
3月	0.0002	0.0007	0.0000

東京

	EUE基準値(kWh/kW・月)		EUE
	①追加設備利用	②信頼度影響	
4月			
5月			
6月			
7月			
8月	0.0010	0.0026	0.0000
9月	0.0004	0.0011	0.0000
10月	0.0002	0.0005	0.0008
11月	0.0011	0.0032	0.0032
12月	0.0000	0.0000	0.0000
1月	0.0002	0.0004	0.0000
2月	0.0001	0.0002	0.0000
3月	0.0004	0.0012	0.0000

隣接エリアで完全一致しているため同一ブロック。他のエリアとは別ブロック。

信頼度状況を公表する途中経過のブロック構成

左の表の例においては、途中状況のブロック構成は以下の通り4ブロックとなる。

- ブロック1 : 北海道
- ブロック2 : 東北、東京
- ブロック3 : 中部、北陸、関西、中国、四国
- ブロック4 : 九州

中部

	EUE基準値(kWh/kW・月)		EUE
	①追加設備利用	②信頼度影響	
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月			
11月	0.0003		0.0000
12月	0.0000	0.0001	0.0000
1月	0.0006	0.0011	0.0009
2月	0.0000	0.0001	0.0000
3月	0.0002	0.0008	0.0000

追加設備量を利用する基準 (緑基準) を超過している月は、充足している月として扱う。

北陸

	EUE基準値(kWh/kW・月)		EUE
	①追加設備利用	②信頼度影響	
4月	0.0005		0.0000
5月	0.0004		0.0000
6月	0.0025		0.0000
7月	0.0002		0.0000
8月	0.0006		0.0000
9月	0.0006		0.0000
10月	0.0007		0.0000
11月	0.0003	0.0010	0.0000
12月	0.0000	0.0001	0.0000
1月	0.0002	0.0006	0.0000
2月	0.0000	0.0000	0.0000
3月	0.0002	0.0009	0.0000

関西

	EUE基準値(kWh/kW・月)		EUE
	①追加設備利用	②信頼度影響	
4月	0.0001	0.0004	0.0000
5月	0.0001	0.0004	0.0000
6月	0.0007	0.0025	0.0000
7月	0.0000	0.0002	0.0000
8月	0.0002	0.0006	0.0000
9月	0.0002	0.0006	0.0000
10月	0.0002	0.0007	0.0000
11月	0.0002	0.0009	0.0000
12月	0.0000	0.0001	0.0000
1月	0.0002	0.0006	0.0000
2月	0.0000	0.0000	0.0000
3月	0.0002	0.0009	0.0000

中国

	EUE基準値(kWh/kW・月)		EUE
	①追加設備利用	②信頼度影響	
4月	0.0001	0.0004	0.0000
5月	0.0001	0.0004	0.0000
6月	0.0007	0.0025	0.0000
7月	0.0000	0.0001	0.0000
8月	0.0002	0.0005	0.0000
9月	0.0001	0.0006	0.0000
10月	0.0002	0.0007	0.0000
11月	0.0002	0.0009	0.0000
12月	0.0000	0.0001	0.0000
1月	0.0002	0.0005	0.0000
2月	0.0000	0.0000	0.0000
3月	0.0002	0.0009	0.0000

四国

	EUE基準値(kWh/kW・月)		EUE
	①追加設備利用	②信頼度影響	
4月	0.0001	0.0004	0.0000
5月	0.0001	0.0004	0.0000
6月	0.0006	0.0024	0.0000
7月	0.0000	0.0000	0.0000
8月	0.0000	0.0001	0.0000
9月	0.0001	0.0004	0.0000
10月	0.0002	0.0007	0.0000
11月	0.0002	0.0009	0.0000
12月	0.0000	0.0000	0.0000
1月	0.0001	0.0003	0.0000
2月	0.0000	0.0000	0.0000
3月	0.0002	0.0009	0.0000

九州

	EUE基準値(kWh/kW・月)		EUE
	①追加設備利用	②信頼度影響	
4月	0.0043	0.0075	0.0002
5月	0.0094	0.0153	0.0004
6月	0.0045	0.0090	0.0000
7月	0.0002	0.0004	0.0000
8月	0.0002	0.0005	0.0001
9月	0.0007	0.0015	0.0000
10月	0.0059	0.0099	0.0000
11月	0.0020	0.0039	0.0000
12月	0.0001	0.0003	0.0001
1月	0.0003	0.0009	0.0010
2月	0.0000	0.0003	0.0001
3月	0.0024	0.0047	0.0001

緑塗箇所 : 追加設備量を利用する基準を超過している箇所 (EUE基準)
赤塗箇所 : 供給信頼度に影響を与える基準を超過している箇所 (EUE基準)
EUE : 月間の供給信頼度(EUE)の値

- これまで作業停止計画*1から容量停止計画提出様式 (CSVファイル) への変換を希望する場合、**事業者から本機関へ変換依頼後、本機関にて変換データを作成・登録、事業者にて登録内容の確認・必要に応じて修正、といった往復の手続き**が必要であった。
- しかし、2023年度から**容量停止計画の作成を支援するツールを提供**しており、本ツールを使用することで、容量停止計画登録用CSVファイルの作成と確認、一度登録した計画の変更等を**事業者自身で効率的に手続き**できるようになっている。
- そのため、容量停止計画提出手続きにおいて、広域機関が実施する**作業停止計画から容量停止計画への変換業務を省略**することとする。
- **2025年度以降から作業停止計画の調整スケジュールを容量停止計画の調整業務のスケジュールに合わせる**ことで調整を行っている。

<容量停止計画作成支援ツールの主な機能>

- 容量停止計画登録データの作成を支援する機能 (新規作成・提出した計画の変更に対応)
- 対象の電源情報の取込、作業日程を入力することで、出力可能容量を自動算定する機能
- 提出用のCSV形式ファイルを自動作成、出力する機能

*1: 送配電等業務指針に基づき、一般送配電事業者と電気供給事業者で調整を行うもの。

(参考) 容量停止計画の調整業務の概要

調整業務の内容について

- 停止計画の時期の調整にあたり、**広域機関より日々の供給信頼度の確保状況等の情報提供**※1を行った。
- 公表された情報をもとに、容量提供事業者は**容量停止計画と対象ブロック**※2の**必要な供給力の充足状況を確認**しながら、停止時期の変更などの調整業務※3を実施した。

※1 広域機関HPにおいて、「供給信頼度評価算定結果」を毎営業日の更新で提供

※2 今回のブロックは、ブロック1（九州以外のエリア）、ブロック2（九州エリア）で設定

※3 調整業務の実施結果にもとづき、容量確保契約金額の減額を算定

<イメージ>

(調整前)

(調整後)

